

FM いずのくに 令和6年度 第四回番組審議委員会議事録

実施日時：令和7年1月17日(金) 14:00～15:00

実施場所：葦山生涯学習センター

出席委員：内山氏、佐野氏、土屋氏

事務局：佐口社長、神田

1. 前回の審議についての回答

- ・ 審議する番組の論点の事前共有について
招集通知に今回の番組の審議の重点を記載しました
- ・ 「県大いずのくにステーション」の内容について
現地でレポートをする前に事前情報を収集し要点をまとめて原稿に起こしてから収録に臨むように指示を出しました。(今月は小坂みかん園、副市長訪問が放送されています)

2. 審議番組について

「やさしい日本語」について

● 審議のポイント

- ・ 日本語がわからない方向けに翻訳されているか
- ・ 話すスピードが聞き取りやすい速さであるか
- ・ 聞いていて意味が伝わってくるか
- ・ その他気づいたこと

委員 A

- ・ よくわからなかった
- ・ こういった番組が必要あるのかどうか
- ・ どこをターゲットにして番組を放送しているのか
- ・ ターゲット層が広すぎてぼやけている
- ・ 海外の方に向けてなのに電話番号など数字を伝える言語が日本語であったことに違和感
- ・ 個々の連絡先ではなく取りまとめられている代表連絡先を伝えた方がよいのではないか
- ・ 日にちの読み方(1日～10日)の伝え方は良かった
- ・ 英語のカタカナ表現はもっと使っても良かったと思う
- ・ AIは言葉の切れのポイントが気になった

委員 B

- ・外国人向けだけかと思っていたが、年配者や障害者にむけてということを改めて知った
- ・外国人がどれだけ聞いていて、実際に役立っているかが不明確
- ・読む速さについても聞きやすいスピードであった
- ・歯医者さん、お医者さんという違いが海外の方にわかるのかと感じた
- ・日にちの伝え方(1日~10日)で二通り伝えているのでわかりやすいのかなと思いました
- ・週替わりで内容をターゲットに合わせたものに変える
- ・AIの音声はイントネーションが気になった

委員 C

- ・審議する番組の論点の事前共有についてもっと具体的な内容を共有する必要がある
- ・広報をやさしい日本語で読み替える必要はない
- ・伝達手段がないものに関してやさしい日本語を使ってやる必要はあると思う
- ・AIに関してはコスト面などを考えた上で代替するのではあれば有効であると思う
- ・海外の方向けとするのであれば国際交流協会に枠として与えてみることもよいのでは
- ・市民が関心のあるテーマの番組を提供できるかという中で、幅広い方に情報提供する番組が必要なのか
- ・行政に対してもっと市民に伝えたい内容、紙媒体では伝えきれない内容をヒアリングして放送した方がいいのではないか

3. 次回の回答事案

- ・行政がもっと市民に伝えたい内容、紙媒体では伝えきれない内容を放送
- ・国際交流協会の番組について

上記二点については行政担当者と打合せをして次回番組審議委員会にて報告する

- ・放送局から委員メンバー宛にメールで連絡のやり取りができるような連絡網を作る

4. その他

- ・全般を通じて放送に関してリスナーさんから何か意見を貰っているのであれば良い意見も悪い意見も番組審議委員会で共有できれば良い
- ・イベントと絡めてパーソナリティとリスナーや関係者と関わり合いを持てるイベントなどを作って愛着をもってもらえるような施策があったらいいと思う

次回 令和7年4月18日(金) 会場は葦山生涯学習センター 14:00~